

令和7年度バドミントンインターハイ県予選（団体戦） 競技上の注意事項

- ① 試合順序は、複1・複2・単1・単2・単3で行い、単1の選手が複1・2、単2・3を兼ねることはできません。1対抗戦3マッチ先取で行います。得点制限は行いません。すべての試合において次の試合まで15分を空けます。
ベンチは主審からコートをみてトーナメント番号の若番が右側、後番が左側に座ってください。
- ② 各試合のシャトルは「数個」、本部からの支給とします。超過分については各校の相対で補給をお願いします。シャトルの温度番号は「3番」です。
- ③ 各対抗戦のマッチごとに2分間の練習時間を設定します。ただし、1日目は練習時間を設けません。主審は時間の計測を行ってください。
- ④ 試合（マッチ）中のシャトルの交換、水分補給、汗ふきなどは必ず主審の許可を得てください。なお、氷嚢の使用は、インターバル中のみとします。容器は倒れてもこぼれないフタ付ボトルを使用し、自分のバックに入れてください。ベンチでのタオル、水分補給は認めないため、必ず主審横にバックを置いてください。
- ⑤ 各コートの1試合目は本部からの指定で行います。本部のコールをよく確認してください。2試合目以降からは前試合の敗者校が主審、線審、サービスジャッジ兼得点表示の計4名を出して実施してください。ルールのおぼつかない1年生が審判をすることのないようにお願いします。

サービスジャッジは、ポストにコート面から1.15mのところにマークがあります。そのマークを基準にコート面から1.15mのところに水平面をイメージし、判定してください。

- スコアボードは本部から運ばれますので敗者校はそのままコートに残り、搬入を待ってください。
ベスト8に残った学校は、敗退した場合でも審判があるので、最後まで帰らずに待機してみてください。
- ⑥ 線審はアウトのコール、シグナルをきちんと行ってください。必ず大会出場者もしくは、ルール理解者が審判を行うようにしてください。得点板のマッチカウントは選手にあわせて表示します。
- ⑦ 応援は着席のうえ拍手、手拍子、声援、掛け声のみとし、応援歌は禁止とする。また、ベンチ付近での立ち上がっての声援は行わないでください。
- ⑧ インターバル中、競技区域付近でのアドバイスは、監督・コーチなど同時に2名までです。
- ⑨ 本大会は、2025年度日本バドミントン協会競技規則に準じて進行します。

サービスのフォルトはゲーム開始当初からとってください。

ゲーム内、11点（得点制限中は8点）の際の60秒のインターバルを主審は必ずコールし、プレイヤーも確認してください。

ゲーム間は120秒です。両者とも残り20秒でコートインをお願いします。

トップウォッチを必ず使用してください。遅れた場合はフォルトとなります。

- ⑩ 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認められません。もし判定に対し疑問がある場合には、次のサービスが為される前に「質問」をすることができます。ここで質問ができる者は、学校対抗では当該選手と監督に限ります。必要な場合はレフェリーを呼んでください。
- ⑪ 以下のルール改正に伴い、スピンサーブはフォルトとなります。

バドミントン競技規則 第9条 サービス

第1項（5）サーバーは、スピン（回転）を加えずにシャトルを放し、ラケットで最初にシャトルの台を打つものとする。